

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2025年 2月 1日

児童発達支援センターこじか園

利用訪問数

2024年 11月 1日 回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2			・視覚支援や身体への刺激の入れ方等、園でも取り入れやすい支援方法を教えて頂きました。	・今後も訪問先の職員の方が取り入れやすい具体的な説明ができるよう、研鑽を続けていきたいと思っております。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2			・限られた時間の中で、個別に対応する姿を見せてもらえ、園で取り入れやすい方法も検討できありがたい。	・ありがとうございます。更に自己研鑽に励みたいと思っております。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2			・訪問前に相談内容を事前に伝えることで、支援方法を考えてもらいありがたかった。	・質問内容を事前に連絡を頂くことで、対応方法を検討できる時間があり、有難く思っております。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2			・共有した園児の困り（園では実践が難しい支援方法）を施設で実践していただけることで困りに対して、多面的なアプローチを行うことができたと感じている。	・保育所等訪問支援事業への理解に感謝いたします。今後とも、宜しく願い致します。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2			・専門的支援を受けながら、連携して保育にあたることができ満足しています。 ・定期的に園児の様子を共有し、事業所と園の両方から繋がりのある支援をすることができるため、とても満足しています。	・ありがとうございます。今後も、訪問先の先生方や子ども、保護者の方々が満足して頂けるよう、邁進してまいります。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・一人の子どもの支援を、多数の目で立体的に評価し、今後に生かすシステムは「子どもの豊かな生活と将来」を保障するものであり、訪問先の幼児教育施設では職員の資質の向上にも繋がっている。PDCAの中に組み込んでいるため、個々の職員に緊張感を持たせ、自然に「最良の支援」につながってくると考える。</p> <p>・保育所等訪問支援を通して、個別の支援方法について専門的な意見を定期的に頂ける機会となり、教師自身の支援の仕方を見直したり、最善な対応を考えたりする時間になっている。本園は施設と併用している園児が多いため、保育後に支援について相談等をする時間をつくると、時間が超過してしまうため、園側も事前に相談内容を伝えたり、30分の個別対応の保育内容を検討したりして、円滑に進める方法を考える必要があると感じています。</p>					<p>・保育所等訪問支援事業に対して、有効的と感じてくださるご意見をちょうだいし、感謝申し上げます。幼児教育現場や保育現場での職員皆様熱心に子ども達に関わっている様子を目にし、我々、児童発達支援職員も、より専門性を高めていきつつ、こどものウェルビーイングの向上につながるような取り組みを行っていきたく思っております。</p> <p>今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>・相談を事前に連絡いただきありがとうございます。対応策を事業所で検討した後、実際の現場で対応できるため、訪問支援員も、子どもに合った支援の提供を提示することができます。日々の業務中に対応していただき感謝いたします。</p>	